

広報たてばやし連載「市史コラム」掲載履歴

No.	日付	部会	タイトル
1	H15. 4.15	監修者	館林市史、再び
2	5.15	自然	古東京湾と館林
3	6.15	原始古代	「邑楽」からの出発
4	7.15	中世	白鳥が見た戦国社会
5	8.15	近世	花見と殿様
6	9.15	近現代	館林市の誕生
7	10.15	民俗	今に生きる十九夜様
8	11.15	自然	植物から見た館林
9	12.15	中世	中世城館とその周辺
10	H16. 2.15	近世	史料を未来へ伝える
11	3.15	近現代	明治期の青年団体
12	4.15	民俗	低湿地の水田
	5.15	事務局	『館林とツツジ』案内
13	6.15	自然	水と緑に抱かれた館林
14	7.15	原始古代	飯塚多右衛門と考古学
15	8.15	中世	西へ移動した佐貫一族
16	9.15	近世	江戸時代の年貢割付状
17	10.15	近現代	モスリンの館林
18	11.15	民俗	館林銭湯物語
19	12.15	自然	館林の野鳥
20	H17. 2.15	原始古代	古代邑楽郡の役所跡
21	3.15	中世	中世の石造物を求めて
22	4.15	近世	北大島村の渡し舟
23	5.15	近現代	関東大震災と館林
24	6.15	民俗	井戸からセセナダメへ
25	7.15	自然	未来に伝えたい館林の“蝶”
26	8.15	原始古代	埴輪の世界
27	9.15	中世	陶磁器が語る館林城
28	10.15	近世	史料から見た館林の姿
29	11.15	近現代	町のしゃれた駅舎
30	12.15	民俗	「城と水」のまち
31	H18.2.15	自然	知られざる蛾の世界
32	3.15	原始古代	古代の人々の暮らしと今
33	4.15	中世	赤井氏と太陽寺氏
34	5.15	近世	成島村大谷原の御林
	6.15	事務局	『絵図と地図にみる館林』案内
35	7.15	近現代	館林と米騒動
36	8.15	民俗	まちの記憶
37	9.15	自然	館林特有の昆虫たち
38	10.15	自然	我が輩はヤモリである
39	11.15	原始古代	遺跡が語るもの
40	12.15	中世	城館を探りあてる
41	H19.2.15	近世	駆込寺と入寺
42	3.15	近現代	アメリカで発見された資料
43	4.15	民俗	五十五の団子
44	5.15	自然	変わる虫の風物詩
45	6.15	原始古代	「邑楽」の呼び方
	7.15	事務局	『佐貫荘と戦国の館林』案内
46	8.15	中世	青石地蔵が来た道
47	9.15	近世	村人の生活と儉約
48	10.15	近現代	日清戦争と館林
49	11.15	民俗	花山名物『雀焼き』
50	12.15	自然	水辺に生きるトンボたち
51	H20.2.15	原始古代	縄文時代の遺跡
52	3.15	中世	海を渡った焼き物
53	4.15	近世	城下町と検断
54	5.15	近現代	まぼろしの館林銘仙
55	6.15	民俗	年齢集団と若者
	7.15	事務局	『館林の自然と生きもの』案内

No.	日付	部会	タイトル
56	8.15	自然	ともに生きてきた野草
57	9.15	原始古代	1000年前の国境争い
58	10.15	中世	羽継原合戦と羽継宿
59	11.15	近世	家康の霊柩が通った道
60	12.15	近現代	昭和初期の地域団体
61	H21.2.15	民俗	圧力鍋に見る生活変化
62	3.15	自然	古墳時代の渡良瀬低地
63	4.15	原始古代	長柄神社と長良神社
64	5.15	中世	千塚の判官塚と伝承
65	6.15	近世	秋元家と封内経界図誌
	7.15	事務局	『館林の城下町と村』案内
66	8.15	近現代	日露戦争と館林の人々
67	9.15	民俗	暮らしに息づくお月見
68	10.15	自然	秋に咲く新種の植物
69	11.15	原始古代	みんなで発掘した遺跡
70	12.15	中世	身近にある石造物
71	H22.2.15	近世	徳川綱吉没後300年
72	3.15	近現代	郷土史家が記した館林
73	4.15	民俗	農業日記と昔の暮らし
74	5.1	原始古代	祥室院殿の墓石の謎
75	6.1	中世	麦の国の中世
	7.1	事務局	『鉦毒事件と戦争の記録』案内
76	8.1	近世	伊王野家の古文書
77	9.1	近現代	100年前の夏祭り
	10.1	事務局	『館林城と中近世の遺跡』案内
78	11.1	民俗	耕地の今昔
79	12.1	原始古代	70年前の古墳調べ
80	H23.1.1	中世	戦国時代のお正月
81	2.1	近世	殿様の墓参り
82	3.1	近現代	田中正造と館林の人々
83	4.1	民俗	雷電神社と俗信
84	5.1	原始古代	三野谷地区の弥生時代
85	6.1	中世	旧佐野口を探る
86	7.1	近世	江戸時代の野犬対策
87	8.1	近現代	館林の戦時下の暮らし
	9.1	事務局	『館林の遺跡と古代史』案内
88	10.1	民俗	ジャンボン回りとは？
89	11.1	原始古代	古代の邑楽郡と甘楽郡
90	12.1	中世	戦国時代の川の領主
91	H24.1.1	近世	館林城の正月行事
92	2.1	近現代	「幻」の館林精系会社
93	3.1	民俗	ひな人形にまつわる話
94	4.1	自然	館林古砂丘の成り立ち
95	5.1	原始古代	縄文人とおしゃれ
96	6.1	中世	武将の装い
97	7.1	近世	江戸時代の埋蔵銭
	8.1	事務局	『館林の民俗世界』案内
98	9.1	近現代	館林の歌
99	10.1	民俗	地区を守る祭り
100	11.1	中世	中世館林藩の落城史
101	12.1	原始古代	將軍の尻を叩いた妻
102	H25.1.1	近世	館林藩を支えた領地
103	2.1	近現代	大正時代の館林町報
104	3.1	民俗	昔の嫁入り
105	4.1	原始古代	古代人の筆跡
106	5.1	中世	戦国時代の母親
107	6.1	近世	江戸時代の石造物建立
108	7.1	近現代	花袋が描いた製粉工場
	8.1	事務局	『館林の大名と藩政』案内
109	9.1	事務局	時代を写す古写真
110	10.1	原始古代	遠くて身近な「遺跡」

No.	日付	部会	タイトル
111	11.1	中世	相撲人のDNA
112	12.1	近世	藩士の妻が描いたお国替え
113	H26.1.1	近世	館林城を飾った正月飾り
114	2.15	近現代	田中正造と館林の地勢
115	3.15	原始古代	水田を開いた人びと
116	4.15	中世	榊原家と鍋島焼
117	5.15	近世	綱吉と鷹狩り
118	6.15	近現代	館林にあった製糸工場
	7.15	事務局	『写真で見る館林』案内
	8.15	事務局	『近代館林の歩みと社会』案内
119	9.15	自然	浅間山の軽石層
120	10.15	原始古代	田山花袋と広開土王碑拓本
121	11.15	中世	赤井氏の系譜
122	12.15	近世	綱吉は二度館林を訪れた？
123	H27.1.1	事務局	楯取素彦と館林
124	2.15	近現代	秋元文庫と館林図書館
125	3.15	民俗	記録に見る分福茶釜
126	4.15	中世	城下町にあった「木著道」
127	5.15	近世	大谷原への植林と山神
128	6.15	近現代	正田貞一郎をめぐる人々
129	7.15	民俗	ねぶた祭りにつながる七夕
	8.15	事務局	『館林の原始古代・中世』案内
130	9.15	原始古代	多々良沼とたたら製鉄
131	10.15	中世	もう一人の戦国館林城主
132	11.15	近世	にぎわう城下の市場
133	12.15	近現代	二業見番とにぎわう花街
134	H.28.1.1	事務局	秋元家と毛利家
135	2.15	民俗	初午とスミツカリ
136	3.15	原始古代	館林藩の雄略天皇陵修復
137	4.15	中世	発掘された中世の館林城
138	5.15	近世	寛保の大洪水
139	6.15	近現代	注文殺到！館林紬
140	7.15	民俗	先祖迎いのパントマイム
	8.15	事務局	『近世館林の歴史』案内
141	9.15	自然	館林の地形と地名
142	10.15	原始古代	出土遺物への「注記」
143	11.15	近世	大坂の陣ゆかりの品々
144	12.15	中世	室町文化の交差点
145	H.29.1.1	事務局	館林の映画館の興隆
146	2.15	近現代	旧藩士の浅間山麓開墾
147	3.15	民俗	戦時下の代用品
148	4.15	原始古代	茂林寺沼湿原の成り立ち
149	5.15	中世	館林城主赤井氏と連歌
150	6.15	近世	館林藩戊辰戦争異聞
151	7.15	近現代	三の丸と石碑
152	8.1	事務局	館林高校の旧銃器庫
	9.15	事務局	『館林の近代・現代』案内
153	10.15	民俗	水塚と舟
154	11.15	自然	洪水と水害
155	12.15	原始古代	榊原康政の墓の発掘調査
156	H.30.1.1	中世	館林城と箕輪城の丸戸張
157	2.15	近世	鷹匠町の武家屋敷と凶面
158	3.15	近現代	田中正造の水力開発構想
159	4.15	事務局	館林の校歌～つつじ編～
160	5.15	文化	上毛モスリンの工場建物群
161	6.15	文化	「団塊の世代」の思い出
162	7.15	民俗	緑豊かな屋敷林ヤマ
163	8.1	事務局	八景歌に詠われた景観
	9.15	事務局	『館林の町並みと建造物』案内
164	10.15	文化	城下町のシンボル・箱火の見
165	11.15	中世	戦国時代のパワースポットツアー

No.	日付	部会	タイトル
166	12.15	近世	役目を終えた館林宿本陣
167	H.31.1.1	近現代	館林・名護の友好都市協定
168	2.15	事務局	嘉納治五郎の校名額
169	3.15	文化	「隠沼」から「里沼」へ
170	4.15	文化	四季を彩る旧秋元別邸
171	5.15	事務局	皇室ゆかりの地・館林
172	6.15	自然	「里沼」の生い立ち
	7.15	事務局	『館林の歴史』案内
173	8.1	近現代	茂林寺と明治の文豪たち
174	9.15	中世	新発見の北条家掟書
175	10.15	近世	赤城神社に奉納された絵馬
176	11.15	近現代	近代館林の観光地化
177	12.15	自然	里沼 多々良沼
178	R2.1.1	民俗	七草
179	2.15	文化	「里沼」とヨシの利用
180	3.15	中世	「わが家の歴史」捨てないで！
181	4.15	近世	青梅神社の彫刻
182	5.15	近現代	衛生ノススメ
183	6.15	民俗	富士塚と初山参り
184	7.15	文化	「里沼」とホリアゲタ
185	8.1	自然	矢場川旧河道と渡瀬川
	9.15	事務局	『館林の寺社と史料』案内
186	10.15	原始古代	赤城神社の祭神と円仁
187	11.15	事務局	館林の校歌～里沼編～
188	12.15	中世	榊原康政が築いた文禄堤
189	R3.1.1	近世	お寺の正月行事
190	2.15	近現代	まぼろしの雑誌「館林人」
191	3.15	自然	城下町の湧水「小柳清水」
192	4.15	民俗	菖蒲と柏餅
193	5.15	中世	水軍を率いた館林城代南条昌治
194	6.15	近世	太平山神社の紺屋町絵馬
195	7.15	近現代	館林城下の神仏分離・廃仏毀釈
196	8.1	事務局	演劇「田舎教師」
197	9.15	事務局	蛇沼と間堀遺跡
198	10.15	自然	上毛館林城沼所産水草図
199	11.15	事務局	館林城下町の総構え
	12.15	事務局	『館林の文化と芸術』案内
200	R4.1.1	文化	館林の文化とまちづくりの礎
201	2.15	中世	新発見の徳川家康書状
202	3.15	近世	姿を変えた太神宮の石灯籠
203	4.1	事務局	漫才師 東喜代駒
204	5.1	近現代	中村理三郎とその記録を未来へ
205	6.1	事務局	秋元春朝と館林
206	7.1	民俗	鰻重とナマズ井
207	8.1	事務局	戦争で供出された梵鐘類
	9.1	事務局	『館林の里沼』案内
208	10.1	自然	館林の平野地形の特色
209	11.1	事務局	大島地区にあった幻の里沼
210	12.1	原始古代	古代人の見た沼ー隠沼と里沼ー
211	R5.1.1	中世	そうだ大字誌やろう！
212	2.1	近世	「御沼」の環境と館林藩士
213	3.1	近現代	「ニッポン」世界一周記念奉納額
214	4.1	事務局	榊原家ゆかりの建物
215	5.1	文化	5月14日は何の日？
216	6.1	近現代	城沼と龍神伝説
217	7.1	事務局	館林まつりと天王祭
218	8.1	事務局	徳川四天王榊原康政の奥方
	9.1	事務局	『館林の絵馬』案内
219	10.1	自然	谷田川とその起源
220	11.1	事務局	館林城主榊原康政の家臣たち
221	12.1	原始古代	古代社会の池と沼

No.	日付	部会	タイトル
222	R6.1.1	中世	榊原康政も動物愛護のお殿様
223	2.1	近世	江戸時代の学び舎と山田収
224	3.1	近現代	群馬二区の「川中島の戦い」
225	4.1	事務局	市制施行記念事業の歩み
226	5.1	民俗	武者幟と鯉幟
227	6.1	事務局	館林市庁舎の変遷
	7.1	事務局	『館林歴史人物事典』案内
228	8.1	自然	谷田川と利根川
229	9.1	文化	「館林巡査」とその後
230	10.1	事務局	日本のバスケットボール先駆者
231	11.1	中世	すべての戦国大名に愛されてしまった館林城
232	12.1	近世	野州石灰と館林
233	R7.1.1	事務局	観性寺の「龍図」と「虎図」
234	2.1	近現代	館林の女子教育と石井ウノエ
235	3.1	事務局	館林市章の由来
236	4.1	民俗	絵師北尾重光の活躍
237	5.1	原始古代	深まる「ナガラ」神社の研究
238	6.1	中世	戦国時代のお土産事情
239	7.1	近世	城沼は何を守ったのか
240	8.1	近現代	館林上空の空中戦
241	9.1	民俗	人物が踊り動き出す、北尾重輝作「油屋図絵馬」
242	10.1	事務局	国勢調査が伝える歴史
243	11.1	自然	洪水が作った平野
244	12.1	原始古代	残された古代の謎
	R8.1.1	事務局	『館林の寺社建築』案内
以降連載中			